

～湘南を“はぐくむ たべる あそぶ まなぶ めぐる”でサステナブルな街に！～

＜基本情報＞

- 所在地：神奈川県平塚市
- 取組開始：平成29年
- 取組概要
- 経営面積：4.5ha
- 構成員：12名
- 主要作物：野菜全般(40品目)



＜土づくりの取組＞

- 土壌診断を全てのほ場で実施し、土壌の化学性について継続してモニタリングを行い、適正値を維持。
- 全てのほ場で緑肥(ソルゴー、エンバク)を毎年、栽培し、すき込みにより地力向上を図っている。
- 地域資源(昆布かす、コーヒーかすなど)を材料とし堆肥化したものや剪定枝チップを活用。



＜地球温暖化抑止や生物多様性保全につながる取組＞

- 収穫残渣は100%土壌に還元し、炭素貯留に努めている。
- 緑肥をすき込むことで、必要となる施肥量の多くを賄っており、ほ場外からの投入量は極めて少ない。
- マルチや被覆資材の活用による病害虫対策に加え、剪定チップマルチングによるトマト疫病の防除、アブラナ科野菜のスーパーセル苗利用による生育初期害虫被害の抑制など、作物病、害虫の生理生態に基づいた防除技術を導入。

＜効率的な生産に向けた取組＞

- 生産量及び品質の安定化を目指して、栽培記録や土壌分析の結果を踏まえ、数値に基づいた栽培管理を実施。
- 大学や県機関とともに「有機農業の見える化」に取り組んでおり、土壌環境の経時的変化を把握することで、生産の安定を図っている。
- 近隣の有機農業者の生産物を集荷し、スーパーなどへ共同出荷することで、流通コストの低減を実現。



＜安定出荷・販路確保の取組等＞

- 市内のスーパーと協力体制を築き、その流通網を活用することで流通の効率化に向けて取組み、スーパーの地場コーナーに「有機野菜コーナー」を設置し、地域に有機農業が普及するようPR活動を実施。
- 自社が生産した農産物に加え、同様な方法で生産された全国の農産物を組合せ、個人宅配を使うことで安定出荷を図っている。
- 有機農業を講義と学習で学ぶスクールを開講しており、卒業生がお互いにサポートしあう等、仲間としてのネットワークが生まれている。

